

科目「小論文」

2問とも、答えてください。

I. 学校教育をめぐる現状についてどのような認識を持っていますか。ご自身が持つ問題意識と関連させながら論述してください。

II. 学校に身を置く教師が、彼らの実践の現場を離れて大学院で研究するという事に果たして意義があるのでしょうか。ましてやあなたが志望されている慶應義塾大学大学院社会学研究科教育学専攻修士課程は「学術大学院」であり、より実践的な内容を扱う「教職大学院」ではありません。「教師の力量は学校現場でこそ高められるのであり、現職教員がこのような学術大学院であえて研究することに意義はない」と考える教師もいると思われませんが、そのような意見に対して、あなたはどのように考えますか。ご自身の志望動機、研究課題に触れながら論じてください。

科目「社会学」

以下の〔問1〕と〔問2〕に解答しなさい。それぞれ別の解答用紙を用いること。

〔問1〕 次の12の用語のうち、4つを選んで説明しなさい。選択した用語の番号を明記すること。

1. ナショナリズム
2. 相対的剥奪
3. マッチング仮説
4. 夫婦家族制
5. フランス構造主義
6. 理念型
7. トリクルダウンの法則
8. ホブズ問題（ホブズの秩序問題）
9. 劇場国家
10. フレーム分析
11. 暗黙のパーソナリティ理論
12. 「火星からの侵入」事件

〔問2〕 次の8問から2問を選んで解答しなさい。選択した問題の番号を明記すること。

1. 宗教への人類学的アプローチについて論じなさい。
2. 世界都市における階層の分極化の動向と空間の変容について、具体的な例を挙げながら説明しなさい。
3. ポジティブ幻想の3つの側面について説明しなさい。
4. 「属性原理 (ascription)」と「業績原理 (achievement)」について、例をあげながら論じなさい。
5. 民俗学 (folklore) の現代的課題について論じなさい。
6. グローバル・メディアとインターネットが、暴力やテロに対してどのような影響を持っているのかについて、プラス・マイナス両面から説明しなさい。
7. ステレオタイプ形成のメカニズムについて説明しなさい。
8. エスピン・アンデルセンの「福祉 (国家) レジーム」について説明しなさい。

科目「心理学」

下記の5問から4問を選択して解答しなさい。

1. 発達における模倣の役割について、実験的手法を用いて行われた研究に言及しながら概説しなさい。
2. 行動分析学における随伴性 (contingency) の概念について論じなさい。
3. 尺度構成における尺度の信頼性と妥当性について説明しなさい。
4. 知覚における恒常性 (constancy) について、大きさと明るさに関する具体例を挙げて説明しなさい。
5. ソースモニタリング (ある特定の記憶の情報源についての判断) について説明し、この研究の重要性について考えるところを述べなさい。

科目「教育学」

※指示に従って以下の問いに答えなさい（問題Ⅰ、Ⅱの解答はそれぞれ別の解答用紙に記入すること。また問題Ⅱについては、選択した問題番号・記号を必ず解答欄の冒頭に明記すること）。

問題Ⅰ 以下の問いに答えなさい（共通問題。受験者全員が解答すること）。

「教育は近代に特有の概念である」という所論がある。この所論がどのような論理や認識に基づいて組み立てられているのか、について説明を加えるとともに、それに対するあなた自身の学問的見解を述べなさい。

問題Ⅱ 以下の4問の中から1問を選択し、解答欄の冒頭に選択した問題番号・記号を明記した上で、解答しなさい。

問題1：教育実践や教育学研究に対する教育思想史研究、または教育哲学研究の意義や貢献のあり方について、教育思想史研究、教育哲学研究を定義した上で、あなたの研究テーマに即しつつ論じなさい。

問題2：日本教育史上、「事件」として知られていることがあるが、以下の「事件」の中から5つの「事件」を選択し、それぞれの「事件」を近代日本教育史に位置づけて、説明しなさい。

- ①内村鑑三不敬事件 ②戸水事件 ③哲学館事件 ④沢柳事件
⑤川井訓導事件 ⑥滝川事件 ⑦教員赤化事件 ⑧イールズ事件
⑨教科書疑獄事件 ⑩天皇機関説事件

問題3：比較教育（学）的な観点からみて、現在の日本の教育の改革・政策課題はどのようなものであると考えられるか。就学前教育、初等教育、中等教育、高等教育、成人・社会教育のいずれかの教育段階・領域に焦点化して、あなたの見解を論述しなさい。

問題4：次の1、2の問いの中から1問を選び解答しなさい。

1. 学習意欲の規定因としての教育環境について、動機づけ心理学の理論や知見に基づいて論じなさい。
2. 教育心理学は、字義的には「教育の問題に心理学的にアプローチする学」あるいは「心理学の理論や方法論を教育の問題に適用する学」と定義されがちである。しかしながら、たとえば認知心理学や発達心理学や学習心理学の理論や方法をただ単に教育の問題に適用しただけでは、それはあくまでも認知・発達・学習心理学の問題の教育における記述や説明に過ぎず、教育独自の問題にアプローチしているとは言えないだろう。他の心理学の理論や方法論に還元されない、教育心理学の理論的・方法論的独自性はどこにあると考えられるか。それをあなた自身の研究関心を具体例として論じなさい。